

2. 企業の「稼ぐ力」を磨く

中小企業を取り巻く経営環境は相変わらず厳しいものがあり、舞鶴商工会議所は、「稼ぐ力」を高めようと意欲を持って取り組む商工業者に対して、国・府・市などの支援制度を積極的に活用しながら、会員企業はもとより中小企業の事業活動が継続的に発展できるように支援します。

経営の効率化については、ICTによる経営管理のセミナーを実施するほか、販売促進には、SNSの活用や商品の改良、展示会等への出展などについてセミナー開催や事業所訪問を通して積極的に支援します。

また、企業経営には合理的な計画が不可欠であることから、経営分析と事業計画の策定について適切な支援に努めるほか、事業展開をする上で公的機関の認定・承認の取得を要する事業所については一緒になって手続等を行います。

さらに、今後予定されている消費税率引き上げと軽減税率制度の導入に向けた対策セミナーを実施します。

一方、円滑な資金調達については、公的融資制度の紹介や斡旋を的確かつ迅速に行うと共に、様々な補助制度の紹介と斡旋にも努めます。特に、小規模事業者を対象にした無担保・無保証人・低金利の「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」の利用促進を図ります。

地域経済が持続的に成長するためには、意欲を持つ誰もがその能力に応じて活躍できるステージが必要です。創業する人を増やす取り組みも大切であることから、創業・起業セミナーの開催と個別支援により、新しい企業者づくりを積極的に取り組みます。

また、全国的な課題となっている「事業承継」については、本市の実情を的確に把握し適切な対応に努めます。

会員企業に対しては、引き続き、経営支援員による窓口対応と事業所訪問を積極的に行い、会員ニーズに

合ったきめ細かなサービスを提供することで、会員企業が「稼ぐ力」をパワーアップ出来るように支援します。

3. 頼りがいのある商工会議所をめざして

商工会議所は、会員の利益を第一に、国・府・市をはじめ、団体や地域と協調しながら「元気なまち」、「夢あるまち」を目指し、全ての地元企業の成長とまち（地域）の発展に繋がる様々な活動を進めなければなりません。

そのために、商工会議所の企画立案部門である7つの委員会と、実動部隊である10の部会が各々の機能をフルに発揮する必要があります。

委員会は、地域経済やまち（地域）を発展させるために必要となる様々な政策の立案や提言を行います。また、産業分野別に編成された部会は、それらを実行するために必要な行動を起こし、その成果を現実のものとして積み上げていくことになります。そして、将来への展望を共有しながら、それぞれの企業活動を通じて地域全体の発展に貢献することが何よりも大切であり、これらの総和が商工会議所活動そのものです。

商工会議所が、地域を代表する総合経済団体として機能し活動を強化していくためには、今以上に、その存在意義を地域内の商工業者に十分に認識していただき、高い支持基盤を持つことが不可欠です。そして、それに見合った組織・財政・運営基盤を確立していかなければなりません。

とりわけ、役員・議員は、商工会議所の機能強化をはじめ財政・経営基盤に責任を持つとともに、主体的に運営に参画していただく必要があります。

具体的な対応としては、①役員・議員の参画促進、②新たな会員サービス事業の開発、③会員の増強とつながり強化、④ビジョンの共有、⑤広報活動の強化、⑥市民とのつながり強化、⑦事務局機能の強化、⑧法令順守・危機対応、⑨自主財源の確保、・・・等々を進めてまいります。

行 動 指 針

1. 行動する商工会議所、魅力ある商工会議所づくりを進める。
2. 府、市、他の経済団体との連携を強化する。
3. 部会、委員会活動を強化する。
4. 会員ニーズの把握に努め対応する。